

子どもは
社会の宝物



子どもの声を電話で聴く

ボランティア 募集中！

福山会場 受け手養成講座

2023年5月13日(土)～ スタート！

チャイルドラインが大切にしている電話の基本「傾聴」や、
子どもについての講座・演習です。



子

どもはじっくり話を聴いてくれる人がいると、安心して
自分で道を切り開いていく力を発揮することができます。



子どもの自死が2022年度は500人を超え、背景にはコロナ禍による家庭・子どもの環境の
変化が影響した可能性があるという報道がありました。

また不登校の子ども達も増えているとのこと。

チャイルドラインには、「親がイライラしている。家庭の中が落ち着かない。」「マスクを外した
顔を見られたくない。」「なんだか不安でどうしよう。」など、今もまだコロナ禍の影響を受ける子
どもからの声が届いています。

しかし・・・現在、電話の受け手ボランティアが不足しています。

子どもの心の居場所作りに あなたの参加をお待ちしています！

【対象】 子どもの支援に興味がある方・傾聴を学びたい方
我が子との関係を変えたい方

【受講料】 12,000円 18歳までの方（高校生年代）3,000円

主催：特定非営利活動法人 ひろしまチャイルドライン子どもステーション

【TEL】 082-233-8655

【事務局携帯】 090-7998-6113

【E-mail】 fuku.hiroshima.cl@gmail.com

【HP】 hiroshima-childline.or.jp



お申し込みは 電話、
またはQRコードから
どうぞ

2023 年度 福山会場 受け手養成講座

回	月・日	内容	講師	会場	時間
1	5/13 (土)	公開 聴くということ	山崎理央 (福山大学教授・臨床心理士)	福山 すこやか センター	10:00～12:30
2		公開 チャイルドライン ～子どもを支援するとは～	上野和子 (ひろしまチャイルドライン理事長)		13:30～15:30
3		受け手の役割	上野和子 (ひろしまチャイルドライン理事長)		16:00～17:00
4	6/3 (土)	公開 子どもの権利① ～だれでも生まれながらに持っているもの～	井上寿美 (大阪大谷大学教授)	福山市内 公共施設 を予定	10:00～12:30
5		子どもの権利② ～子どもと出会うあなたへ～ つながる力、響きあう力			13:30～15:30
6	7/9 (日)	公開 子どもの状況① 子どもと依存症	上堂 蘭順代 (精神保健福祉士・社会福祉士 NPO 法人 ASK 認定依存症予防教育アドバイザー ー)		10:00～12:00
7		公開 子どもの状況② ～発達障害について～	小野塚剛 (一般社団法人日本自閉症協会理事)		13:00～15:00
8	7/22 (土)	公開 子どもの状況③ 母子支援の現場から	村上幸治 (尾道母子生活支援センター施設長)		10:00～12:00
9		公開 子どもたちの性と生	安達倭雅子 (電話相談員)		13:00～15:00
10	8/19 (土)	演習①～電話対応の基本を学ぶ	高延有希恵 (臨床心理士)		18:30～20:30
11	9/2 (土)	演習②～チャイルドラインを体感	高延有希恵 (臨床心理士)		10:00～12:00
12		演習③～自分を知るワーク①	上野和子 (ひろしまチャイルドライン理事長)		13:00～15:00
13	9/24 (日)	演習④～自分を知るワーク②	高延有希恵 (臨床心理士)	10:00～12:00	
14		面接	上野和子 (ひろしまチャイルドライン理事長)	13:00～15:00	

*会場は福山市内の公共施設を使用予定しています。

*公開講座 1・2・4・6・7・8・9 はそれぞれ、1 講座だけでも受講できます。

公開講座のお申し込みは電話または Google フォームからどうぞ。

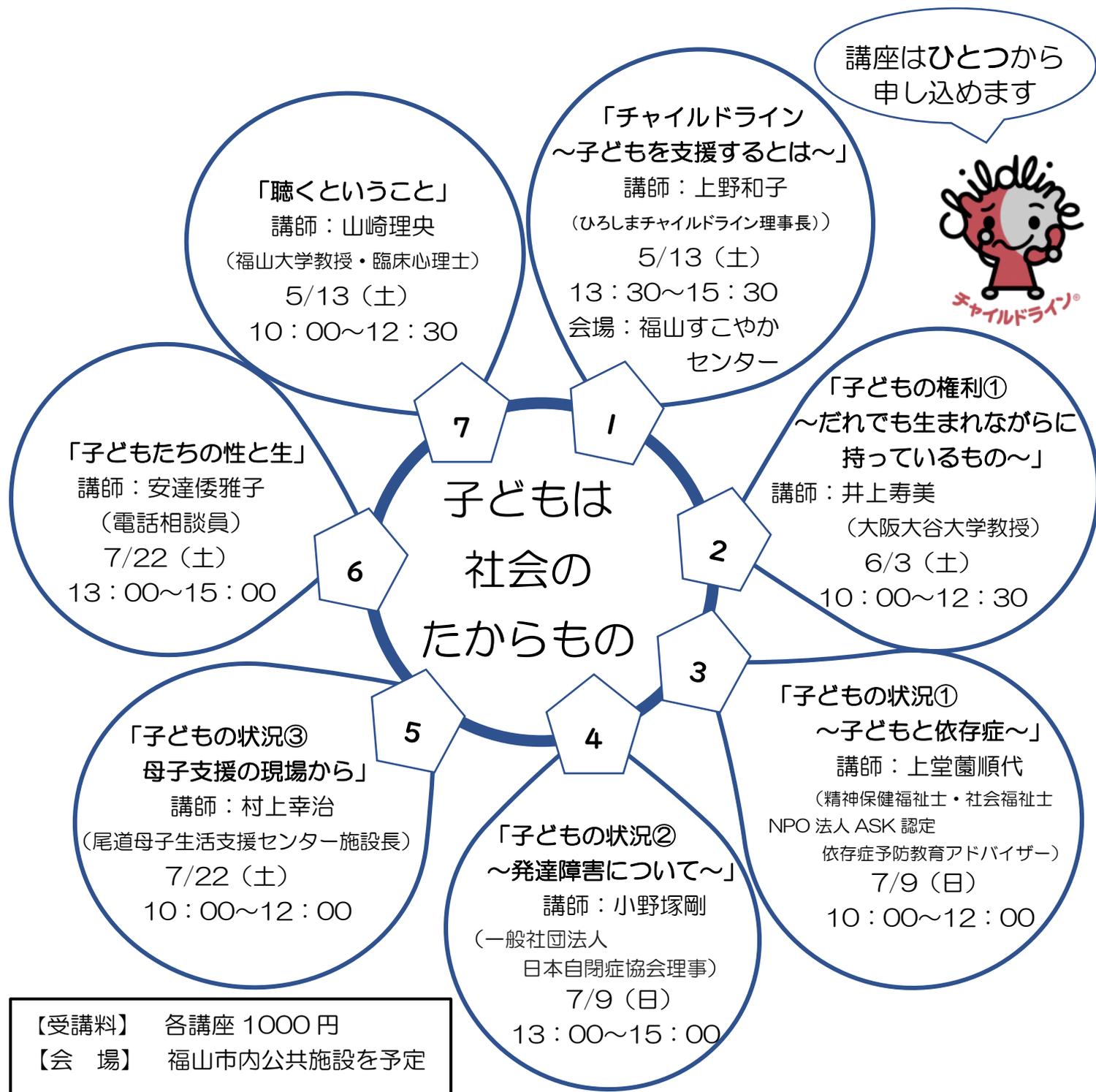
(申し込み必要・各 1,000 円)



ひろしまチャイルドライン受け手養成講座(福山会場)

公開講座のご案内

講座はひとつから
申し込めます



主催：特定非営利活動法人 ひろしまチャイルドライン子どもステーション

【TEL】 082-233-8655

【事務局携帯】 090-7998-6113

【E-mail】 fuku.hiroshima.cl@gmail.com

【HP】 hiroshima-childline.or.jp

【後援】 福山市 (予定)



QRコードより Google フォームか、
もしくは電話でお申し込みください。

ひろしまチャイルドラインでは 2022 年度、全国共通ライン(0120-99-7777)で 10,723 件の電話を受けました。

子どもは じっくり話を聴いてくれる人がいると、安心して自分で道を切り開いていく力を発揮することができます。

チャイルドラインには、友だち関係、いじめ、虐待、性の悩み、あるいは話し相手としてチャイルドラインは多様な子どもの声に寄り添い、受けとめてきました。

また、「親がイライラしている。家庭の中が落ち着かない。」「マスクを外した顔を見られたくない。」「なんだか不安でどうしよう。」など、今もまだコロナ禍の影響を受ける子どもからの声が届いています。

ひろしまチャイルドラインでは福山会場で 5 月 13 日から、電話で子どもの声を聴くボランティアの養成を目的とした講座を開講します。その一部を公開講座として、ご案内します。チャイルドラインの目指す子どもを大切にしたい社会の実現のためには、多くの地域コミュニティの大人達の助けが必要です。

ぜひ公開講座で子ども達の「今」を知って、暖かなまなざしで子どもの成長を見守るサポーターになってください。

★チャイルドライン事業

子どもがける電話とインターネットを利用したオンラインチャットを広島市・福山市・東広島市で開設。

★子どもアドボケイト事業

子どもに会い、子ども自身の思いを伝えることを手助けする（マイクの役割）アドボケイトを派遣します。

子どもたちの声を聴き続けてきた活動に新たに 2022 年度から子どもアドボケイト派遣事業が加わりました。

★講師派遣

◆研修会・講演会

チャイルドラインに届いた子どもたちの声を社会に伝えるための研修会・講演会や、コミュニケーションワークショップも体験学習としても開催中。対象は子どもから大人まで。

あなたの地域や職場で、研修会を開催しませんか？

*講師派遣料は、ご相談に応じます。

